

学校保健論	3年・前期	2単位	非常勤講師 新井 淑弘
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310932

1. 授業のねらい・概要

学校教育目標の具現化としての学校保健の位置づけを理解し、学校保健の実践が児童生徒の発達にどのような役割を担っているかを学ぶ。

学校保健の意義と目的、行政と学校保健、法規に基づく学校保健の内容と組織、保健主事や養護教諭等の関係職員の役割などについて具体的な実践例をとおして学習する。

2. 到達目標

1. 学校教育活動における学校保健の位置づけを理解する。
2. 学校保健の意義と目的を理解し、関連法規に基づく教育活動を理解する。
3. 学校保健を担う関係職員の役割や機能を理解する。

3. 授業の進め方

講義

4. 授業計画（講義）

1. 学校保健の目的と意義、領域構造、担当者	9. 食育の推進と学校給食
2. 学校全体で取り組む保健教育	10. がん教育
3. 学校保健組織活動、学校保健・安全の計画	11. 障害のある児童・生徒への健康上の支援
4. 児童生徒の発育発達、疾病異常等（小児保健を含む）	12. 学校環境衛生
5. 児童生徒の健康状態の把握と指導（健康診断、健康観察 等）	13. 学校安全①（学校における事故・災害とその防止 等）
6. 学校における感染症の予防と対応	14. 学校安全②（安全教育、学校の防犯 等）
7. 児童生徒の精神の健康	15. 応急手当（心肺蘇生法、包帯法 等）
8. 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	

5. 成績評価の方法・基準

平常点、定期試験、レポート等を総合的に判断する。

6. テキスト・参考文献

教科書：①学校保健ハンドブック 教員養成系大学保健協議会（編）
②学校保健マニュアル 南山堂

7. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

各授業の最後に次回のテーマに関連した課題を出すので、受講までに準備を行うこと。（30分程度を必要とする内容）

8. 受講上の留意事項

1, 2年次の一般教養科目の規定科目の単位を取得していること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験は実施後に解法の要点等について解説を行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当しない。